【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和6年8月28日(2024.8.28)

【国際公開番号】WO2023/112572
【出願番号】特願2023-567619(P2023-567619)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　6/36(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　6/36

【手続補正書】
【提出日】令和6年2月2日(2024.2.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の光ファイバを保持するためのフェルールであって、
前記複数の光ファイバそれぞれを載置可能な複数の溝部と前記複数の溝部の少なくとも一部に向かって開口する窓部とを有するフェルール本体と、
前記窓部に配置され、前記複数の溝部と共に前記複数の光ファイバを挟み込んで保持するように構成された押さえ部材と、を備え、
前記押さえ部材は、プレートと、前記プレートの内面に設けられる弾性体とを有し、
前記押さえ部材は、前記プレートが広がる面に対して交差する方向から視て、前記弾性体が前記複数の溝部の少なくとも一部に重なるように、前記窓部に配置される、フェルール。
【請求項２】
前記弾性体は、前記プレートよりも低いヤング率を有する材料から形成されている、
請求項１に記載のフェルール。
【請求項３】
前記弾性体のヤング率は、２ＭＰａ以上８０ＭＰａ以下である、
請求項１に記載のフェルール。
【請求項４】
前記弾性体は、シリコーン樹脂から形成されている、
請求項１に記載のフェルール。
【請求項５】
前記プレート及び前記弾性体の少なくとも一方は、紫外線を透過可能な樹脂から形成されている、
請求項１に記載のフェルール。
【請求項６】
前記プレート及び前記弾性体は、紫外線を透過可能な材料から形成されている、
請求項１に記載のフェルール。
【請求項７】
前記弾性体の厚みは、前記プレートの厚みよりも薄い、
請求項１に記載のフェルール。
【請求項８】
前記弾性体の厚みは、１０μｍ以上１００μｍ以下である、

請求項１に記載のフェルール。
【請求項９】
前記弾性体は、前記複数の溝部の長手方向における第１端部を少なくとも覆っている、
請求項１から請求項８のいずれか１項に記載のフェルール。
【請求項１０】
前記弾性体は、前記プレートの前記内面のうち８０％以上の面積を有する部分を覆うように設けられている、
請求項１から請求項８のいずれか１項に記載のフェルール。
【請求項１１】
前記弾性体は、第１弾性体及び第２弾性体を含み、
前記第１弾性体は、前記複数の溝部の長手方向における第１端部を覆い、
前記第２弾性体は、前記複数の溝部の長手方向における、前記第１端部とは逆側の第２端部を覆う、
請求項１から請求項８のいずれか１項に記載のフェルール。
【請求項１２】
前記弾性体は、複数の弾性体を含み、
前記複数の弾性体のそれぞれは、前記複数の溝部のそれぞれに対応し、対応する溝部を覆う、
請求項１から請求項８のいずれか１項に記載のフェルール。
【請求項１３】
請求項１から請求項８のいずれか１項に記載のフェルールと、
前記複数の溝部それぞれに配置されている複数の光ファイバと、
を備える、光コネクタ。
【請求項１４】
前記複数の溝部に配置されている前記複数の光ファイバは、紫外線硬化型の接着剤により前記フェルール本体に固定されている、
請求項１３に記載の光コネクタ。
【請求項１５】
請求項１から請求項８のいずれか１項に記載のフェルールを準備する工程と、
複数の光ファイバのそれぞれを前記複数の溝部のうち対応する溝部に配置する工程と、
前記窓部から前記複数の溝部に向けて接着剤を注入する工程と、
前記押さえ部材が前記複数の溝部と共に前記複数の光ファイバを挟むように、前記押さえ部材を前記窓部に配置する工程と、
前記接着剤を硬化させる工程と、
を含む光コネクタの製造方法。